

巻頭言

— 困難を乗り越えて —

今年度も皆様より多大なるお力添えを賜り、本部会を代表して、厚く御礼申し上げます。これまで基礎研は、「外国語教育研究における基礎的な理論や研究法の渉猟」および「文献の輪読等を通した外国語教育研究に必要とされる基礎知識の共有」という2点を目標として掲げ活動してまいりました。週に1回の研究会を開催したり、年に1度の報告論集を発行したりすることで、これらの達成を目指してまいりました。

しかしながら、近年、部会員の数が大幅に減少し、活発な議論や意見交換を行う機会も減少傾向にありました。加えて、今年度は、過去に類を見ない感染症の急速かつ広範な拡大により、約半年の間、研究会を不開催とすることを余儀なくされました。しかしながら、昨年度から取り組んでいるSNSでの広報活動やオンラインでの研究会の開催を決定したことが功を奏し、結果的に全国各地から多数の方々に研究会にご参加いただきました。さらに、本報告論集への投稿も多数お寄せいただき、過去最多となる6本の掲載が決定いたしました。また2020年3月には、統計特別セミナー「外国語教育研究における一般化線形混合モデル」を開催し、50名を超える方々にご参加いただきました。一時は、部会の存続そのものさえも危ぶまれる状況に陥りましたが、多くの困難を乗り越え、以前にも増して活発に活動を続けております。

本部会は、さらなる発展はもちろんのこと、多くの方々と研究の議論が交わらせるような機会を提供することを目指し、来年度も変わらず活動を行う所存でございます。それには、皆様からのご支援が不可欠でございます。より多くの方々にご参加いただけますよう、私を含め、運営委員で尽力してまいります。今後とも、皆様のご支援、ご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

三上 綾介

名古屋大学大学院人文学研究科博士課程後期課程
外国語教育メディア学会中部支部外国語教育基礎研究部会部会長